１．個人データ

職名：講師　　氏名：南 侑樹　　学位：修士（教育学）　　e-mail： y-minami@kobe-kosen.ac.jp

２．教育・研究テーマ

（１） 英語授業研究

実践者としての研究と理論構築のための研究を行っております。

まず，実践者としての研究では，学習者の動機づけを高めるための授業づくりを英語教育学，教育工学，認知心理学などの知見を援用しながら，実践してきました。その中で逆向き設計を援用した授業づくりや学習者が発問を作る授業といった授業づくりなど，その実際について高校教員時代から発表してきました。

さらに，授業研究の質を高めるための理論構築を行っております。教師が成長をするためには経験も大切ですが，同時に経験をどう先の授業実践につなげるかも重要なことです。これまでに，内省に着目した授業研究を行い，その内省の方法により，どのように授業が変容していくか，そのプロセスを公表してきました。その中で，内省をする際には，ただ単に事実を羅列するのではなく，どう感じたか，どのように思ったかを記録に残し，その後の授業にいかにしてつなげるか，その方策を立てることが，授業構築には大切だとわかってきました。

また助言者として，初任者といった経験の浅い教員を対象に授業を作り上げる手助けを行っています。特に，初任者は経験が浅いために，指導上の様々な困難を抱えています。ただし，一方的にあれこれをいうよりも，気づきを促す助言をすることが大切であるようです。そうした対話の在り方についても研究を行っています。さらには共同研究で，教員同士で実践を共有し，学び合えるコミュニティ形成とそのプロセスの解明について，理論と実践の双方からアプローチをしています。

（２）第二言語語彙習得研究および指導法研究

大きく分けて 2 つの研究を行っています。一つは，コロケーションやフレーズの習得に関してです。コロケーションやフレーズは，母語話者が慣用的に用いているものであり，非常に重要な単位であるものと言えます。これまでの研究で，コロケーションの意味の性質(直訳できるか否か)が学習に影響があり，直訳できるコロケーションは直訳できないものよりも学習が促進されることがわかってきました。また，単語単体で学ぶよりも，知っている語と知らない語の組み合わせ(フレーズ)で学習した方が，学習効率が上がることを実験により明らかにしてきました。

もう一つは，語彙習得を促すタスクの研究です。例えば書いた方がよいのか，読んだ方がよいのかといったタスク比較です。またタスクの実施方法について，一度に学習する語の数はどの程度が適切なのか，学習する間隔はどのようなものが最適か，そうした部分に着目し実験を行っています。そして，理論と実験から導き出された結果をもとにして，日本人英語学習者にとって有効な語彙指導法を提案していきます。

３．その他のデータ

（１）教育・研究技術相談可能分野

・英語授業研究
・第二言語語彙習得研究
・英語教育，学習全般

（２）出前講義・公開講座，講演可能テーマ

・英語教育実践研究法
・第二言語語彙習得

（３）キーワード

・英語教育学，授業研究，教師教育学，第二言語語彙習得